

平成 27 年度

事業報告書



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

目 次

公社経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・	1
事業報告の概要・・・・・・・・・・・・・・	2
定款事業別体系図・・・・・・・・・・・・	4
事業区分別事業報告・・・・・・・・・・・・	6
公社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37

公社経営方針

当公社は、公益財団法人として、足立区民に文化及びスポーツ並びに学習の体験や機会を提供するとともに、自主活動を支援する事業を行い、生涯学習を推進し、人材の育成を図り、生き生きとした地域社会の創造に寄与することを目的としている。公益財団法人となった平成 21 年度以降は、生涯学習施設の管理運営を所掌事業から外し、職員の経験と実績に基づく指導力、調整能力を生かした事業に特化し展開している。

平成 27 年度の事業計画及び予算編成にあたっては、足立区から受託する「あだち放課後子ども教室」支援を中核事業とする一方で、足立区を広域に捉えた事業及び足立区内の人材に着目した文化・スポーツ・学習活動にかかる事業を実施する。

文化事業においては、アウトリーチによる機会提供を行う。また学習・スポーツ事業では、専門性を生かして、人材育成や活用機会の充実に努める。

上記の状況を踏まえ、事業の実施、予算執行にあたっては、より一層効果的・的確な運営を図ることにより、事業の実施効率を上げ、区民へのサービス向上に努める。

重点事項

① あだち放課後子ども教室の運営支援及び拡充に取り組む。【最重点事業】

平日週 5 日開催の安定的な運営のための支援を行うとともに、実行委員会や学校との協議を進め、体制強化を図り学年の拡大や図書室の利用拡大に努める。

② 区民に文化・学習・スポーツの豊かな体験機会を提供するとともに、地域で活躍する人材の育成を図る。

学習・スポーツ事業では、地域での学習・スポーツ活動にかかる人材の育成を中心に学習機会を提供し、放課後子ども教室等での人材活用につなげるとともに、指導者養成等の実践力を高めるための事業を実施する。

文化事業では、区内で活動するアーティストや民間の文化施設との連携やネットワークを深めた事業及びアウトリーチ手法を活用した体験機会の提供を展開する。

③ 公益法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

平成 27 年度 事業報告の概要

平成 27 年度は、足立区からの受託事業を主流としつつ、公社の自主財源である運用益を活用した自主事業にも取り組んできた。

区民対象とした文化事業、学習事業を展開し、のちに各種事業に携わる人材育成に力を入れた。それとともに、放課後子ども教室については、区からの受託事業に加えて三者協定に基づく補完事業として、「放課後子ども教室利用案内＝あだち放課後子ども教室に行こう＝」を作成、全児童に配布した。

重点事項に基づく主要事業の概要は以下のとおりである。なお、定款の事業区分別事業報告は、6 ページ以下で報告する。

1 あだち放課後子ども教室の運営支援 【生涯学習の機会提供に関する事業、足立区から受託する生涯学習に関する事業】

(1) 運営支援と実施内容の拡充について

放課後子ども教室は、概ね週 5 日実施で開催する中、全学年実施校が 27 年度中に 7 校増え、3 月末現在で 57 校となり、拡大しながら安定運営を続けている。

また、実行委員会では、日頃の実施状況を把握するとともに、図書室活用や学年拡大、教室運営の平準化などを話し合い、特に今後の体験プログラム導入と実施について、実行委員会、学校、公社で意見交換を行った。

日常の運営支援では、週 1 回以上の巡回又は月 1 回程度のスタッフ会議を通して、活動状況を密に確認し、課題発生時の早期対応に向けた体制を続けている。

(2) 会議、研修の実施

安全管理講習会は見守りスタッフが A E D や緊急時の対応を学び、また各自が応急処置の手順を復習する機会として、夏休みまでに全校で実施した。併せて新任スタッフ向けの安全管理講習も今年度は 4 回実施した。

また、公社自主事業のスタッフ研修は、「子どもへの接し方」や「遊びの重要性」、さらに「危機管理」をテーマに 3 コース実施した。コースにより講義及びグループワークを交えて、見守り活動に役立つ見識を高めた。

(3) 事業の周知、広報について

毎月、広報紙「ときめき」に、子どもたちの読書や外遊びなどの体験活動やスタッフのサポートを紹介する記事をコラムとして掲載し、放課後子ども教室の活動状況を周知した。また、保護者に放課後子ども教室の趣旨や活動内容への理解を深める目的で「放課後子ども教室利用案内＝あだち放課後子ども教室に行こう＝」を作成し、次年度入学する児童に行き渡るように学校公開の時期に合わせて発行、学校からの配布を行った。今後も新入学児説明会等で引き続き配布を行っていく。

2 生涯学習・スポーツ事業 【生涯学習の機会提供に関する事業、生涯学習の人材育成に関する事業、生涯学習の活動支援に関する事業、足立区から受託する生涯学習に関する事業】

生涯学習の機会提供事業では、おりがみ教室やおはなし会・コーディネーショントレーニングの体験プログラムを実施した。体験プログラムの運営や指導には、公社が実施してきた人材育成講座を修了し、サポーター(ボランティア)として活動を希望した方が携わっている。人材の育成と活用をトータルに捉え、地域活動へと結びつける取り組みとしている。今年度も、読み語り実践者育成や子どもに関わる活動の担い手を養成する講座を開催し、新たな人材育成を進めた。

また、体験プログラムの内容の充実を図るために、サポーターを対象としたスキルアップ講習会や情報交換のための交流会を実施した。知識や技術の向上によりモチベーションが高まり、サポーター活動の継続につながっている。

地域学習講座では、社会生活に活かす心理学の講座やスポーツ栄養学講座など、大学や専門機関との連携による学習機会を提供した。また、コーディネーショントレーニングの要素を組み込んだ「運動あそび」の指導プログラムを学ぶスポーツ指導者講習会を開催し、区民の健康体力づくりに関わる人材のレベルアップの機会とした。

3 文化事業 【生涯学習の機会提供事業に関する事業、生涯学習の人材育成に関する事業、足立区から受託する生涯学習に関する事業】

生涯学習の機会提供では、足立区にゆかりのあるアーティストによる一般区民向けのコンサートの実施や、福祉施設や学校に訪問して演奏等を行うアウトリーチ事業を通して、多くの区民が身近に文化芸術に触れる機会を提供した。今年度新規事業の「コンサート in ミュージアム」では、区内の4施設が連携し、質と満足度の高い催し物を開催した。

人材育成に関する事業では、文化芸術にかかわるアーティスト同士の相互交流や活動の機会を提供し、新たな文化芸術活動の創出を目指した。

また、活動支援に関する事業では、地域で活動する各団体との共催事業を実施して、足立区の文化振興の促進と支援を行った。

足立ジュニア吹奏楽団の運営・支援事業では、音楽を愛好する情操豊かな児童の育成を図っている。最近では、区内外からの派遣演奏の依頼が増え、楽団の存在と地域への認知度が高まった。団員の保護者で組織する「楽団友の会」の安定運営について助言、支援を行い、今後の自主的で持続可能な組織体制を目指す。

平成27年度 定款事業別体系図

定款第4条第1項事業	事業大区分	事業小区分
1 生涯学習の機会提供に関する事業 (第1号事業)【公益目的事業】	(1) 体験プログラムの提供	① 体験プログラム等
	(2) 文化イベント	① コンサート等
	(3) 生涯学習啓発	① アウトリーチ等
	(4) 学習情報提供	① 公社ニュース・ホームページ等作成 ② 放課後子ども教室利用案内等作成
2 生涯学習の人材育成に関する事業 (第2号事業)【公益目的事業】	(1) 地域学習活動人材育成	① 安全管理員等地域人材育成
		② 文化団体等地域人材育成
3 生涯学習の活動支援に関する事業 (第3号事業)【公益目的事業】	(1) 地域学習・団体活動支援	① 地域学習支援
		② 文化団体等支援
4 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業 (第4号事業)【公益目的事業】	放送大学学園東京足立 (1) 学習センターの施設開放に関する事業	① 放送大学学園東京足立学習センターの図書室・視聴学習室の設備の維持管理
5 足立区から受託する生涯学習に関する事業 (第5号事業)【公益目的事業】	(1) あだち放課後子ども教室支援	① あだち放課後子ども教室の支援・推進
	(2) シュニア吹奏楽団支援	① シュニア吹奏楽団の支援
	(3) 体力向上支援人材育成	① 指導者養成他 (「ディネーション」)

定款第4条第2項事業

事業大区分

事業小区分

放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する受託事業
(第1号事業)【その他事業1】

放送大学学園東京足立学習
(1) センターの運営等に関する受託事業

① 放送大学学園東京足立学習センターの事務局事務

7 その他前号に定める事業に関連する事業
(第4号事業)【法人会計】

(1) 公益法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営

① 経営管理、組織・人事管理、財務運営

事業区分別事業報告

1 生涯学習の機会提供に関する事業

(定款第4条第1項第1号事業)【公益目的事業】

(1) 体験プログラムの提供			当初予算額
			649 千円
目的及び概要	体験プログラムでは、公社事業で発掘・育成した地域人材を活用し、子どもや高齢者に対して、学習・スポーツ等の体験や啓発の機会を提供する。今年度も、あだちこどもサポーター養成講座修了生を実践者として、読み語りキャラバンや、放課後子ども教室での「キッズおりがみ教室」を展開する。また、地域活動の実践者を対象に身体機能の維持・向上に有効とされるコーディネーショントレーニング*の体験入門教室を実施する。		
27年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数・校	実施場所
【1】読み語りキャラバン隊によるお話会	6～2月	5 回	地域学習センター
【2】コーディネーショントレーニング体験入門教室	6 月	1 回	区内小学校等
【3】放課後キッズおりがみ教室	4～3 月	16 校	区内小学校
平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）実績			予算現額
			1,058,000 円
			執行額
			1,017,129 円
実施概要	【1】読み語りキャラバン隊によるお話会		
	地域図書館や幼稚園等と連携して「読み語りキャラバン隊」によるスペシャルおはなし会を実施した。キャラバン隊には、毎年、「読み読みのためのボイストレーニング講座」修了者を新規メンバーとして加え拡充を図っている。ことばあそび、詩の朗読、手作り大型絵本での読み語りなど、毎回演目を工夫しながら、参加型のプログラムを盛り込み、会場が一体となるおはなし会を展開した。		
	【2】コーディネーショントレーニング体験入門教室		
	地域での健康体力づくり推進を目的に、総合型地域クラブ(JOTO クラブ)との連携による「シニアコーディネーション教室」を開催した。参加者は、楽しく身体をほぐし、リズム感や反応能力等の向上を狙ったメニューを 10 回コースで体験し、運動の効果を実感していた。教室終了後、総合型地域クラブのプログラムとして継続できるよう、公社が指導員の調整や広報などの支援を行った。		
	【3】放課後キッズおりがみ教室		
	「子どもと遊ぶおりがみ教室」の修了者が、おりがみサポーターとして放課後子ども教室でキッズおりがみ教室を展開し、季節にちなんだおりがみや作って遊べる作品などを子どもたちと一緒に折る活動をしている。27 年度の修了者が加わって、現在、約 80 人のサポーターが活動するまでに広がってきた。今では、子どもたちが工夫を加えオリジナル作品を仕上げたり、折り方を教え合ったりする様子が見受けられるなど、放課後の体験活動が広がる取り組みとなっている。		

実 施 結 果	延参加人数	実施回数	実施場所
【1】 読み語りキャラバン隊によるおはなし会 4月26日(日)午後 6月22日(月)午後 9月 9日(水)午後 12月25日(金)午後 1月25日(月)午後	97人 52人 29人 53人 67人	1回 1回 1回 1回 1回	竹の塚地域学習センター 生涯学習センター 佐野地域学習センター 鹿浜こども園 保塚地域学習センター
【2】 コーディネーショントレーニング 体験入門教室(シニア対象) 5月10日(日)～7月12日(日)午後 計10日	269人	1回	千住あすま住区センター
【3】 放課後キッズおりがみ教室 開催校19校 各校月1回程度	2,973人	183回	千寿常東小、千寿桜小、千寿第八小、本木小、梅島第一小、足立小、弘道小、中川北小、加平小、竹の塚小、西保木間小、中島根小、伊興小、新田小、舎人小、舎人第一小、花畑第一小、東加平小、中川小
合計	3,540人	189回	

*コーディネーショントレーニング：身体と脳・神経系統のバランスの良い発育や、スムーズな動きづくりに効果が期待できるトレーニング方法

(2) 文化イベント		当初予算額		
		1,794 千円		
目的及び概要	多くの区民が、文化芸術によって、地域に愛着心や誇りを持ち、文化芸術の薫り高い地域社会の実現のために、文化イベントを提供する。			
	「マイタウンコンサート」として、北千住駅構内などの区民にとって身近な施設で、区内に住むアーティストを中心とした演奏会を開催し、区民の地域への愛着心の向上を図る。併せて、アーティストの地域での活動の可能性を拡げていく。			
	「ドンどこ ♪フェスティバル」は打楽器の即興演奏を中心としたドラムサークル*を行い、新たな「祭り」の場を創出し、参加者相互の世代を超えた交流を図る。			
	「コンサートinミュージアム」は、区内の民間文化施設で、コンサートや寄席などの事業を実施し、各施設相互の連携と、質の高い地域文化資源を定着させる。			
27 年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【1】マイタウンコンサート		9、1 月	2 回	区内
【2】ドンどこ ♪フェスティバル		11 月	1 回	都市農業公園
【3】コンサート in ミュージアム		3 月	1 回	区内民間文化施設
平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）実績				予算現額
				1,899,000 円
				執行額
				1,885,050 円
実施概要	【1】マイタウンコンサート			
	6 月に開催したマイタウンコンサートは、休館日の郷土博物館で実施した。区内出身のサクソ奏者・中野貴子氏率いる「Takako Quartet (タカコ カルテット)」が出演。超満員の会場は、新緑の東洲江庭園をバックに、ジャズのリズムと拍手で満ち溢れた。			
実施概要	3 月には、初めての開催場所となる「関原の森」で実施した。区内在住で NHK 交響楽団のチェロ奏者、西山健一氏、ヴァイオリニストの富沢由美氏が出演。ひなまつりの日、会場内は暖かい春の陽気に包まれ、弦楽器の優雅な音色が響き渡った。両日とも聴き馴染みのある曲を中心にプログラムが組まれ、アンケート結果からも好評を得た。			
	【2】ドンどこ ♪フェスティバル			
実施概要	今年も都市農業公園の芝生広場で、雨上がりの晴天の中、太鼓のリズムが大地に響き渡った。収穫祭で手にした野菜や物産品を持った人たちなど、小さいお子さんから高齢者まで多くの方が集まった。橋田`ペッカー`正人氏、石川武氏、PORCO ROSA pequena(ポルコ ローサ ペケーニャ)によるドラムパフォーマンスが繰り広げられると、その後、全員で行う即興演奏「ドラムサークル」がスタート。参加者は、ファシリテーター(リズムのガイド役)野田氏に先導されながら、互いに呼応し合うなど次第に参加者同士のリズムが共有されていった。「ドラムサークル」を通じて他者との一体感を味わうとともに、世代を超えた交流が図られ、地域密着型のリズムフェスティバルとして盛り上りを見せた。			

実施概要	【3】コンサート in ミュージアム 今年度新規事業として、区内の民間文化施設（六町ミュージアム・フローラ、昭和の家＜平田邸＞、わたなべ音楽堂＜ベルネザール＞、石洞美術館）がネットワークを組み4館で実施した。内容は、施設への思い、趣を大切にしながら、建物の特徴を活かした演出やテーマを設定した。4館の代表者による実行委員会の開催や、事業当日には、互いに各館の運営支援を行うなど、相互の連携と理解を深めた。事業を通して区内の貴重な文化資源を区民に広く紹介することができ、地域に根差した質と満足度の高い催し物を提供することができた。			
	実施結果	延参加人数	実施回数	実施場所
【1】マイタウンコンサート ①6月8日(月) 午後 出演:Takako Quartet (タカコ カルテット) ②3月3日(木) 午後 出演:西山健一氏(チェロ)、 富沢由美氏(ヴァイオリン) 小計		260人 125人 385人	1回 1回 2回	郷土博物館 関原の森
【2】ドンどこ♪フェスティバル 11月15日(日) 午後 出演:PORCO ROSA pequena (ポルコ ローサ ペケーニャ) ファシリテーター:橋田“ペッカー”正人氏、 石川 武氏、野田憲一氏		200人	1回	都市農業公園
【3】コンサート in ミュージアム ①10月21日(水) 午後 『秋の宵 コンサート in 六町ミュージアム』 出演:大前恵子氏(ソプラノ)、池山由香氏(アルパ)、三塚幸彦氏(尺八) ②11月29日(日) 午後 『よみがえる 昭和の暮らしと「無声映画の世界」』 出演:ハルキ氏(活動弁士)、 湯浅ジョウイチ氏(ギター) 【企画・協力】オフィス・アゲイン		62人 66人	1回 1回	六町ミュージアム・フローラ 昭和の家(平田邸)

*ドラムサークル：打楽器による参加型即興演奏

実 施 結 果	延参加人数	実施回数	実施場所
③1月17日(日) 午後 『まちなかのサロンホールから ～弦楽四重奏の愉しみ～』 出演:江口自音子氏(ヴァイオリン) 江口章一氏(ヴァイオリン) 村井由紀氏(ヴィオラ) 村井 将氏(チェロ)	54人	1回	わたなべ音楽堂 〈バルザール〉
④2月6日(土) 午後 『土と火の織り成すスペインの熱情』 出演:茨木智博氏(オカリナ) 大柴 拓氏(ギター)	68人	1回	石洞美術館
小計	250人	4回	
合計	835人	7回	

(3) 生涯学習啓発		当初予算額	
		2,335 千円	
目的及び概要	文化芸術に触れる機会の少ない区民の方に、文化芸術の機会を広く提供するため、地域で展開する事業を行う。 「ふれあい出前寄席」「ふれあいコンサート」は、日常的に文化芸術に触れる機会が少ない高齢者、障がい児・者等を対象に、福祉施設や地域で実施する。さらに、施設利用者が公演企画運営に参画することより、日常生活の充実と向上を図る。「小学校アウトリーチコンサート*1」は、感性を養い人間力の向上を図ることを目的に早い時期(小学校1年生)でプロの演奏家による本物の芸術を間近で体験させる。 SPC(スチューデントプロデュースコンサート*2)オリジナルソング「このまち」が区内で広く親しまれ、愛唱されるように、ときめきに楽譜・CD についての記事を掲載し周知を図る。		
27 年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数・校	実施場所
【1】ふれあい出前寄席	4、6、8月	3回	区内
【2】ふれあいコンサート	5、7、10月	3回	区内
【3】小学校アウトリーチコンサート	12～3月	7校	区内小学校
【4】SPC オリジナルソング 「このまち」周知事業	8月	1回	

平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）実績		予算現額
		2,335,000 円
		執行額
		2,039,526 円
実施概要	【1】ふれあい出前寄席 区内在住者を含む出演者に出演・協力を依頼し、高齢者福祉施設「イーストピア東和」、「足立新生苑」の2施設で実施した。事前にポスターの作成、当日の会場の飾りつけなどに協力していただき、当日を迎えるまでの期待感を高めていった。実施後のヒアリングでは、寄席を鑑賞中の利用者の生き生きとした様子や、当日事業に携わった利用者の意欲の向上など、施設職員側の気づきの声が多く聞かれた。今後施設主催の事業等でも利用者に参画してもらうなど今回の経験を活かしていきたいとの報告をいただいた。	
	【2】ふれあいコンサート 区内出身の演奏家の協力のもと、障がい者福祉施設2施設で開催した。 10月の「うめだ・あけぼの学園」では、障がいを持った子どもたちを対象に実施した。当日は、間近で見て聴く楽器と演奏に、身も心も振るわせて反応するなど、感性豊かな子どもたちに音楽の楽しさ、素晴らしさを伝えることができた。 11月には、【利用者参加型*3】の手法を用いて「綾瀬なないろ園」で実施した。施設から選ばれた「企画リーダー」7名とともにコンサート本番の約1か月前から会議を行い、お客様を迎える立場に立って、コンサートを盛り上げる内容や、準備することなどを話し合った。会議では、彼らが役割を担うことでやりがいと自信を持って企画に参加している手応えを感じながら進めることができた。実施後のヒアリングでは、企画リーダーという経験を通して、生活意欲やコミュニケーション能力の向上が図られ、効果を確認することができた。	
	【3】小学校アウトリーチコンサート 区内小学校の1年生7校、14クラスを対象に実施した。間近でプロの演奏家による生演奏を鑑賞した。浜まゆみ氏(マリンバ)、クリス・フロー氏(パーカッション)では、直接楽器に触れる体験や、コール&レスポンス(相手と同じリズムを返す)やボディパーカッションで共演するなど、からだ全体でリズムを感じ取り、音楽の楽しさを伝えた。また、平野小では、当日学校からの要望があり、急きょ特別支援学級(21名)の児童に向けたサプライズ演奏を行った。クインテット・アッシュ(木管五重奏)は、5種類それぞれの楽器の特徴をクイズ形式で解説し、子どもたちの興味関心を惹き付けた。瀧村依里氏(ヴァイオリン)、白石光隆氏(ピアノ)では、曲を聴いた後に題名をイメージさせたり、ピアノの一部を解体して音が鳴る仕組みを見せたり、子どもたちの想像力や感性をかきたてた。各出演者は、優れた演奏のみならず、様々な手法を用いて、音楽の楽しさや素晴らしさを伝えた。	

実施概要	【4】SPCオリジナルソング「このまち」周知事業			
	公社ニュースときめきで周知を図り、合唱曲を広めてもらえる方たちを募り、配布した。区内の演奏家が自らのコンサートのプログラムに加えられるなど各方面で歌われた。			
実施結果		延参加人数	実施回数	実施場所
【1】ふれあい出前寄席				
①8月11日(火) 午後		103人	1回	1-ストピア東和
②9月7日(月) 午後		93人	1回	足立新生苑
林家たけ平氏(落語)				
林家つる子氏(落語)				
鏡味仙三氏(太神楽)				
小計		196人	2回	
【2】ふれあいコンサート				
①事前アウトリーチ 10月19日(月)午後		80人	1回	うめだ・あけぼの学園
ふれあいコンサート 10月27日(火)午後		80人	1回	
出演:畑澤加代子氏(フルート)、畑澤 泉氏(ヴァイオリン)、尾形由美氏(ピアノ)				
②ふれあいコンサート企画リーダー会議、反省会		32人	5回	綾瀬なないろ園
10月28日、11月4日、11月11日、11月18日 毎(水)午後、				
12月7日(月)午後、				
事前アウトリーチ 11月18日(水) 午後		60人	1回	
③ふれあいコンサート 11月27日(金) 午後		75人	1回	
出演:たぐちたみ氏(メゾソプラノ)、KANATA氏(シンセサイザー)、高橋恵子氏(ピアノ)				
小計		327人	9回	

実 施 結 果	延参加人数	実施回数	実施場所
【3】 小学校アウトリーチコンサート ①9月 8日(火) 午前(特別支援学級 21 名) ②9月 17日(木) 午前 ③9月 18日(金) 午前 浜まゆみ氏(マリンバ)、 クリス・フロー氏(パーカッション) ④10月 27日(火) 午前 ⑤11月 4日(水) 午前 クインテット・アッシュ(木管五重奏) ⑥1月 21日(木) 午前 ⑦2月 4日(木) 午前 瀧村依里氏(ヴァイオリン)、 白石光隆氏(ピアノ) 小計	85 人 53 人 50 人 59 人 50 人 70 人 51 人 418 人	3 回 2 回 2 回 2 回 2 回 2 回 2 回 15 回	平野小 寺地小 青井小 西新井第二小 西保木間小 関原小 江北小 文化活動支援課
【4】 SPC オリジナルソング ときめき8月号掲載「このまち」周知事業 【通年】 配布先:コーラスグループ、福祉施設など 19 団体 合計	941 人	26 回	

*1 アウトリーチ：地域へ出張して行う芸術普及活動

*2 SPC スチューデントプロデュースコンサート：一般公募で集まった区内在住・在学の高校・大学生が約 10 ヶ月かけて、プロの演奏家が出演するコンサートを創り上げた企画。

*3 利用者参加型：施設利用者の中から選ばれた代表者(企画リーダー、5～6 人)と公社職員が実行委員会を組織し、本番公演の約 1 カ月前から、週 1 回程度の企画リーダー会議を実施する。施設利用者の方たち自らコンサートの運営側の立場に関わって、公益的な事業や仲間に貢献する喜びや達成感を醸成し、コミュニケーション力や自信や意欲の向上を図ることを目的とした参画型の事業

(4) 学習情報提供			当初予算額	
			12,083 千円	
目的及び概要	生涯学習の推進を図るために、公社の概要や事業案内を、区民に情報発信する。 公社ニュース「ときめき」では、公社事業や「あだち放課後子ども教室」関連情報等を発信する。「公社ホームページ」では、公社概要や事業案内などの情報を提供し、公社を広くPRする。また、区民の生涯学習への取り組みを推進するため、公社事業やトピックスをより掘り下げ区民の関心や理解を深める特集を企画し提供する。 「あだち放課後子ども教室」の事業趣旨、事業概要、参加方法、参加時の約束事など具体的な内容も盛り込んだ利用案内の冊子を作成し、「あだち放課後子ども教室ハンドブック(仮称)」として保護者や学校関係者、実行委員会等に配布する。			
27 年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【1】公社ニュース「ときめき」への自主事業等 情報発信		毎月 1 日	12 回	区内全戸配布他 (31万部)
【2】公社ホームページによる情報提供事業 (企画ページ含む)		通年		
【3】「あだち放課後子ども教室」ハンドブック の編集・発行		9 月	1 回	保護者、学校関係 者、実行委員会等 (5万部)
平成 27 年度（平成 27 年4月1日～平成 28 年3月31日）実績			予算現額	
			12,083,000 円	
			執行額	
			11,478,240 円	
実施概要	【1】公社ニュース「ときめき」への自主事業等情報発信 毎月、自主事業(文化事業、学習・スポーツ事業)の募集案内、「あだち放課後子ども教室」のコラムや放送大学の学生募集等掲載し、定期的に情報発信を行った。 【2】公社ホームページによる情報提供事業 公社概要、事業案内や事業報告などの情報を随時発信し、公社を広くPRした。 【3】「あだち放課後子ども教室利用案内＝あだち放課後子ども教室へ行こう＝」の編集・発行 放課後子ども教室の活動内容を広く周知するため、事業の趣旨、利用方法、参加時の約束事などを盛り込んだ冊子（利用案内）を作成し、学校公開の説明会時にあわせて発行した。学校を通して新入学予定児の保護者、在校生、学校関係者に配布するとともに、公社から実行委員会等に配布した。			

実 施 結 果	実施期間	実施回数	実施場所
【1】公社ニュース「ときめき」への自主事業等 情報発信	毎月 1 回	12 回	区内全戸配布他 (約 31 万部)
【2】公社ホームページによる情報提供事業	随時		
【3】あだち放課後子ども教室利用案内「＝あだち放課後子ども教室へ行こう＝」の編集・発行	9 月	1 回	保護者、学校関係者、実行委員会 (5 万部)

2 生涯学習の人材育成に関する事業

(定款第4条第1項第2号事業)【公益目的事業】

(1) 地域学習活動人材育成 ①安全管理スタッフ等地域人材育成 ②文化団体等地域人材育成		当初予算額
		2,029 千円
		予算現額
		2,063,000 円
		執行額
		1,466,122 円
目 的	「あだち放課後子ども教室」や地域における子どもたちの体験交流活動を推進するために、地域学習活動にかかわる「人材」を発掘・育成し、活用する。また、文化面においても、地域の演奏家のアウトリーチ技術向上を図るとともに、区内のアーティスト等が交流することによる新たな区民文化の創出と、地域の文化芸術の振興および向上を図る。	

①安全管理員等地域人材育成		当初予算額		
		1,415 千円		
概 要	「安全管理員研修」は、安全管理員が日々の見守り業務を行う上で参考となる子どもへの接し方等のテーマで実施し、必要な専門的知識と技術の習得を図る。また、子どもたちの体験・交流活動に関わる地域人材を育成・活用する「あだちこどもサポーター養成事業」を展開するとともに、スキルアップ講習や情報交換等の機会を通じ、活動の支援を行っていく。			
27 年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【1】安全管理員研修会 （子どもの発達・児童心理等）		5～10 月	10 回	生涯学習センター他
【2】地域活動啓発・向上講座		12 月	1 回	生涯学習センター
【3】あだちこどもサポーター養成講座 （読み語り、おりがみ、遊びなど）		5～2 月	6 回	生涯学習センター

内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【4】あだちこどもサポーター スキルアップ講習		7,10月	2回	生涯学習センター
【5】あだちこどもサポーター活動支援 (読み語りキャラバン、おりがみサポーター)		通年	80回	区内小学校
【6】サポーターネットワーク支援		不定期	2回	生涯学習センター他
平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)実績				予算現額
				1,415,000円
				執行額
				838,527円
実施概要	【1】安全管理員研修会 スタッフのスキルを高める研修で、Aコース「子どもへの声かけのしかた～よりよい子どもとの関係づくり～」を3会場で実施、また、Bコース「子どもの身体と体力の向上(遊びの重要性)」を1会場で実施し、共に児童への接し方や身体の発達段階を学び見守り活動に役立つ知識を高めた。Cコースでは「放課後の危機管理」をテーマに、①「個人情報の取扱い」②「子どもを守る危機管理」③「学校との連携」の3部構成で1コースを実施、見守りスタッフの意識啓発を図った。 【2】地域活動啓発・向上講座 子どもと関わる活動に携わっている方や保護者を対象に、子どもの発達段階に応じて起こる悩みや問題行動等について理解を深めるための「子ども学講座(子どものことを考える大人の勉強会)」を開講した。今年度は、主に部活・スポーツクラブ等でスポーツをしている子ども同士の関係や心の理解、関わる大人(親・コーチ)の対応をテーマとして講座を実施した。 【3】あだちこどもサポーター養成講座(読み語り、おりがみ、遊びなど) この講座は、子どもと関わる活動を行っている、または活動を行いたいという方を対象に、実践的なスキル習得を目的とした講座である。 ①「読み読みのためのボイストレーニング」では、講座最終日に「おはなし会実習」での実演体験を組み入れ、その後の「読み語りキャラバン隊」への参加に繋げている。 ②「キッズあそびリーダー講習会」は、スポーツや遊びの場面で活かせる「レクリエーションゲーム」や、効果的なゲーム展開のポイントなど、現場で役立つ内容を学ぶ機会として実施した。 ③「なわとびリーダー講習会」では、子どもたちが「なわとび」を楽しくスムーズに上達できるようなサポートテクニックを学び、実際に子どもへの指導を体験した。 ④「子どもと遊ぶおりがみ教室」は、おりがみをツールとして子どもたちと交流するボランティアの養成を目的として実施した。修了者が、放課後子ども教室の体験プログラムのサポーターとして活動を開始できるよう支援した。			

平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）実績				
実施概要	【4】あだちこどもサポータースキルアップ講習 サポーター活動に必要な技術のレベルアップを図るため、実践的な内容を組み込み、読み語りのサポーターやおりがみサポーターのスキルアップ講習を実施した。			
	【5】あだちこどもサポーター活動支援（読み語りキャラバン、おりがみサポーター）及び【6】サポーターネットワーク支援 おりがみサポーターは、27年度末現在、約80名が18校で活動している。公社では随時、サポーターと各放課後子ども教室スタッフとの連絡調整などを通じて、活動継続化の支援を行っている。更に、おりがみサポーター相互の情報交換や技術向上を支援するため、サポーター交流会を開催し各校での活動内容の工夫や特色などを発表し合い、子どもとの接し方やおりがみ作品のヒントを共有する機会としている。			
	また、放課後の図書室で、子どもたちと一緒に本を探すなど、おすすめ本などの声かけを行う読書支援サポーターが、3 校で試行的に活動している。自由に過ごす放課後子ども教室の場面で、どのような読書支援活動が行えるのかサポーターと連携しながら進めている。			
実 施 結 果		延参加人数	実施回数	実施場所
【1】安全管理員研修会				
Aコース「子どもへの声かけのしかた ～よりよい子どもとの関係づくり～」 7月 3日(金)、7月 10日（金） 7月 17日(金)		185 人	3 回	勤労福祉会館 生涯学習センター ギャラリー
Bコース「子どもの身体と体力の向上＝遊び の重要性＝」 9月 10日(木)		54 人	1 回	生涯学習センター
Cコース「知っておきたい放課後の危機管理」 10月 13日（火）		172 人	1 回	庁舎ホール
小計		411 人	5 回	
【2】地域活動啓発・向上講座				
「子ども学講座」（子どものことを考える大人の勉強会） ～スポーツをする子どもの理解と対応～ 8月3日(月)、8月 17日(月)午前 計2日		25 人	1 回	生涯学習センター
【3】あだちこどもサポーター養成講座		96 人	1 回	生涯学習センター
①「読み語りのためのボイストレーニング講座」 5月 18日(月)～6月 22日(月)午前				
計5日				

実 施 結 果	延参加人数	実施回数	実施場所
②「読み語りのためのボイストレーニング体験講座」 9月5日(土)午前	67人	1回	生涯学習センター
③「キッズあそびサポーター講習会」 7月3日(金)～7月10日(金)午前 計2日	33人	1回	生涯学習センター
④「なわとびリーダー講習会」 10月24日(土) 午前	22人	1回	生涯学習センター
⑤「こどもと遊ぶおりがみ教室」第8期 10月7日(水)～11月4日(水)午前 (10/28実習・午後) 計5日	111人	1回	生涯学習センター
小計	329人	5回	
【4】あだちこどもサポータースキルアップ講習	13人	1回	生涯学習センター
①「ボイストレーニングフォロー講習」 9月7日(月)午前			
②「おりがみサポーターフォロー講習」 10月21日(水)午前	13人	1回	生涯学習センター
③「おりがみサポーターレベルアップ講習」 11月11日(水)・11月25日(水)午前 計2日	82人	1回	生涯学習センター
小計	108人	3回	
【5】あだちこどもサポーター活動支援			
①おりがみサポーター活動の支援 (放課後子ども教室 19校での活動者数)	680人	183回	区内小学校
②読書支援サポーター活動の支援 (放課後子ども教室 3校での活動者数)	30人	30回	区内小学校
③読み語りキャラバン隊活動の支援 (区内図書館等 5回の活動者数)	96人	5回	地域学習センター他
小計	806人	218回	
【6】サポーターネットワーク支援			
「おりがみサポーター交流会」			
第一回 6月10日(水)午前	39人	1回	生涯学習センター
第二回 2月17日(水)午前	55人	1回	生涯学習センター
合計	1,679人	234回	

②文化団体等地域人材育成			当初予算額	
			614 千円	
概要	「演奏家のためのアウトリーチ講座」は、プロもしくはプロを目指している演奏家を対象に、アウトリーチの技術向上と文化芸術の人材育成を図るために開催する。 「あだちアートリンクカフェ」は、主として足立区でアートにかかわる区民を対象に、様々な立場や役割を超えた相互の情報交換と交流により、新しい区民文化の創出を目指す。 「あだちアートリンクカフェ・公開フォーラム」は複数のパネリストによる、アートをテーマにした議論を深め、文化芸術に関する区民の意識の向上と相互交流の場とする。			
27 年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【1】演奏家のためのアウトリーチ講座		2 月	1 回	区内
【2】あだちアートリンクカフェ		月 1 回	11 回	東京芸術センター他
【3】あだちアートリンクカフェ・公開フォーラム		12 月	1 回	区内
平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）実績				予算現額
				648,000 円
				執行額
				627,595 円
実施概要	【1】演奏家のためのアウトリーチ講座 日本におけるアウトリーチの第一人者の講師陣を迎え、アウトリーチの歴史、アーティストとしてのアウトリーチの位置づけ等を習得した。また、プロの演奏家によるアウトリーチデモンストレーション体験や、グループワークを行い、参加者のさらなるレベルアップを目指した。2 日間を通して、アウトリーチの考え方や相手に効果的に伝えるためのコミュニケーションの手法を学び、個々の能力の向上が図られた。 講座を通して、新たな区内在住の演奏家との出会いにもつながるなど、大変有意義なものとなった。 【2】あだちアートリンクカフェ*1 アートにかかわる分野で活動する多彩なゲストスピーカーを迎え、文化・芸術に関わっている参加者同士の交流を図り、ここでの出会いをきっかけに新たな地域文化の創出を目指した。定例会(概ね月 1 回、金曜日の夜間に開催)では、これまでの参加者(約 150 人)で希望される方に参加のご案内を出しているが、一般区民も参加できるよう【一般公開】も実施した。 あだちアートリンクカフェの出会いがきっかけで生み出された成果に、 ●茨木氏の CD ジャケットのロケ地 【茨木智博氏(オカリナ)+平田氏(昭和の家)】 ●わたなべ音楽堂<ベルネザール>母の日コンサート【渡邊啓平氏(わたなべ音楽堂<ベルネザール>)+五藤悦子(詩人・朗読家)+愛着あだちの会斉藤善久氏】等がある。			

実施概要	【3】あだちアートリンクカフェ・公開フォーラム 今回は、コンサート in ミュージアムの各施設のオーナーをパネリストに迎え、各館の紹介、設立までの経緯や思い、施設の魅力などをアピールした。後半には、区内在住の演奏家を含むヴィーヴ！サクソフォーン・クワルテット(サクソス四重奏)によるミニコンサートを実施した。公開フォーラムとして、一般の区民の方々にも参加していただき、区内の身近な文化施設の紹介と、文化芸術に関する区民の意識を向上させることができた。			
	実施結果	延参加人数	実施回数	実施場所
【1】演奏家のためのアウトリーチ講座 2月13日(土)、14日(日)2日間 午前・午後 講師：児玉 真氏(一般財団法人 地域創造プロデューサー、いわき芸術交流館アリオスCPO、東京藝術大学非常勤講師)、長谷川亜樹氏(サントリーホール企画制作部) デモ演奏：瀧村依里氏(ヴァイオリン)、白石光隆氏(ピアノ)		34人	1回	竹の塚地域学習センター
【2】あだちアートリンクカフェ 第43回 4月24日(金) 夜間 胡舟ヒフミ氏 小日山拓也氏 (音まち千住の縁ヤッチャイ隊) 「“音まちの宝” 自治組織化するボランティアたち—音まち千住の縁ボランティアチーム「ヤッチャイ隊」とその有志による「千住ヤッチャイ大学」—		26人	1回	東京芸術センター 会議室
第44回 5月22日(金) 夜間 平田 茂氏 (昭和の家<平田邸>当主) 「古民家を集いの場に」		35人	1回	昭和の家<平田邸>
第45回 6月26日(金) 夜間 渡辺浩二氏 (皇宮警察音楽隊楽長) 「皇宮警察音楽隊の活動について」		16人	1回	東京芸術センター 会議室
第46回 7月24日(金) 夜間【一般公開】 大橋弘美氏 (足立区音楽祭実行委員長) 「区民が創る足立区音楽祭」 ミニコンサート：大橋弘美氏 (フルート)		79人	1回	生涯学習センター 講堂

実 施 結 果	延参加人数	実施回数	実施場所
矢野元子氏（ピアノ）、加藤 人氏（ベース）			
第 47 回 8月 28 日(金) 夜間 白谷武一氏 (六町ミュージアム・フローラ館主) 「六町ミュージアム・フローラへようこそ」	20 人	1 回	六町ミュージアム・フローラ
第 48 回 9月 25 日(金) 夜間 上本竜平氏 (AAPA 代表) 永井美里氏 (日の出町団地スタジオ講師) 「『暮らしの延長』としてのスタジオとダンス」	15 人	1 回	日の出町団地スタジオ
第 50 回 3月 25 日(金) 夜間 瀧澤清吉氏(カフェ・クレール オーナー)、 遠田守男氏(ゆうらいく オーナー) 「足立区から LIVE を発信し続ける男前マスターたちの心意気」 ミニコンサート ソプラノ/太前恵子、バストロンボーン/西田幹、フルート/大橋弘美、ピアノ/白石光隆、オカリナ/茨木智博	29 人	1 回	カフェ・クレール (関原 2)
小計	220 人	8 回	
【3】 あだちアートリンクカフェ・公開フォーラム	65 人	1 回	生涯学習センター 講堂
第 49 回 12 月 18 日(金) 夜間 (第 1 部)公開フォーラム パネリスト:白谷武一氏(六町ミュージアム・フローラ館主)、平田 茂氏(昭和の家〈平田邸〉当主)、渡邊啓平氏(わたなべ音楽堂〈ベルネザール〉オーナー)、林 克彦氏(石洞美術館学藝員・事務局長) 「あだちアートリンクカフェ・シンポジウム 公開フォーラム～《つなぐ》きらめきのアートポイント～」 (第 2 部)ミニコンサート 出演:ヴィーヴ!サクソフォン・クワルテット (サククス四重奏)			
合計	319 人	9 回	

* 1 リンク：つながり

3 生涯学習の活動支援に関する事業
 (定款第4条第1項第3号事業)【公益目的事業】

(1) 地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援 ②文化団体等支援		当初予算額
		670 千円
		予算現額
		670,000 円
		執行額
		531,342 円
目的	区民が地域課題や現代的課題について、主体的に考え、学びあう機会を創出し、学習活動の充実と支援を図る。また、自主的な文化活動を行う区民や地域の芸術家および団体と演奏会等を共催し、地域の文化振興に寄与する。	

①地域学習支援			当初予算額	
			346 千円	
概要	事業の企画段階から、大学等専門性に優れた各種機関と連携を取り、学習テーマの設定や講師選定など学習内容の充実を図り、区民の学習活動を支援していく。			
27年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【1】区関連機関との連携及びコーディネート		通年		
【2】大学等各種機関との連携講座事業		6～2月	5回	生涯学習センター他
【3】地域学習コーディネート事業		通年	随時	区内各小学校
平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）実績			予算現額	
			346,000 円	
			執行額	
			298,902 円	
実施概要	【1】区関連機関との連携及びコーディネート 放課後に子どもたちが将棋に親しめる機会として、日本将棋連盟との連携による将棋教室を、2校で各10回ずつ実施した。			
	【2】大学等各種機関との連携講座事業 (1)大学連携講座 ①「東京未来大学連携講座」 社会生活に密着したテーマを学ぶシリーズ「暮らしに役立つ心理学」講座を開講。今年度は、ストレスの仕組みを知り、日常生活の中でストレスをケアするヒントを、実習を交えて学んだ。			

実施概要	②「放送大学連携講座」 身近なテーマを専門的に学べる機会を2講座開講し、区民が身近で学べる放送大学の魅力を紹介した。			
	(2)各種機関連携講座			
	①「スポーツコンディショニング講座」 ジョギングやテニスなど、スポーツに親しむ人を対象に開催。今回は、女性の筋力・骨格などの身体特性と、年齢や体力に応じた効果的なトレーニング方法やケガの予防についての基礎知識を学んだ。			
	②「あだちウェルネスカレッジ」 健康づくり・スポーツ活動の啓発を目的に、身体の仕組みや運動の効果を学ぶ機会として開催。講師に、トップアスリートのサポートにも数多く携わっているスポーツ栄養学の第一人者を招き、「運動と栄養」をテーマに開講した。			
	③「こどもゆめ広場」 放課後子ども教室に参加した児童の体験活動として、「ギャラクシティ」指定管理者との連携で、工作教室「こどもゆめ広場」を20校で実施した。			
	④「ハンズヒントクラブ」 東急ハンズとの事業連携で、粘土工作を2校で実施した。			
	⑤「おもちゃ講座」 区内企業のイワヤ株式会社との事業連携で、動くおもちゃの構造を学ぶ講座を1校で実施した。			
	【3】地域学習コーディネート事業 地域団体等が実施する学習会などの、企画相談や適任の講師を紹介するなど学習活動の相談窓口を実施している。コーディネーショントレーニングや発達心理学の事業についての相談に対応した。			
実施結果		延参加人数	実施回数	実施場所
【1】区関連機関との連携及びコーディネート				
①地域学習団体活動支援講座「将棋塾①」		126人	10回	鹿浜第一小
②地域学習団体活動支援講座「将棋塾②」		86人	9回	桜花小
小計		212人	20回	
【2】大学等各種機関との連携講座				
(1)各種機関連携講座				
①女性のための「スポーツコンディショニング講座」 ～パフォーマンス向上のための姿勢づくり～ (NPO スポーツセーフティジャパン) 7月8日(水)午前		39人	1回	生涯学習センター

実 施 結 果	延参加人数	実施回数	実施場所
②あだちウェルネスカレッジ Vol.7 「運動と栄養」 ～正しく学ぶ大人の栄養学～ 12月12日(土)午前	166人	1回	生涯学習センター
③放送大学連携講座 「選択の心理学」 11月19日(木)午前	75人	1回	生涯学習センター
「食行動学」 ～栄養の知識だけでは食行動は変えられない～ 2月16日(火)午前	55人	1回	生涯学習センター
④東京未来大学連携講座 「暮らしに役立つ心理学」Vol.6 ～ストレスケアの心理学～ 9月15日・29日・10月6日夜間 計3日	199人	1回	生涯学習センター
⑤こどもゆめ広場 (ギャラクシティ こども未来創造館) 5月27日 西保木間小 6月10日 皿沼小 6月17日 東綾瀬小 6月24日 千寿桜小 7月 8日 花畑第一小 7月15日 鹿浜五色桜小 9月 9日 東洲江小 9月30日 江北小 10月 7日 花畑西小 10月14日 西新井第二小 10月28日 長門小 11月11日 千寿双葉小 11月18日 平野小 12月9日 北鹿浜小 12月16日 大谷田小 1月20日 高野小 2月10日 栗島小 2月18日 足立入谷小 3月 2日 中川小 3月 9日 扇小 <u>全20回中水曜日19回、木曜日1回</u>	1,335人	20回	左記のとおり
⑥ハンズヒントクラブ 「おがくず粘土でふうりんをつくろう」 6月2日(火)午後 西新井小 「せっけんねんどでフルーツをつくろう」 2月19日(金)午後 東伊興小 (東急ハンズ)	73人	2回	西新井小 東伊興小

実 施 結 果	延参加人数	実施回数	実施場所
⑦おもちゃ講座 3月11日(金)午後 梅島小 (株式会社イワヤ)	15人	1回	梅島小
小計	1,957人	28回	
【3】地域学習コーディネート事業	768人	19回	千寿桜小開かれた学校づくり協議会、鹿浜いきいき館、区住区推進課
合計	2,937人	67回	

②文化団体等支援		当初予算額	
		324 千円	
概要	足立ジュニア吹奏楽団の演奏活動を支援するため、地域からの出張演奏依頼に伴う楽器運搬費を支出する。 「歓喜の演」「足立区音楽祭」「ブリランテコンサート」「足立吹奏楽団定期演奏会」については、足立区の文化振興のため、各団体からの申請により公社共催事業とし支援を行う。 「イベントコーディネート」は、区、民間、地域からの企画相談に対応する窓口を設置し、地域の文化事業について助言、提案等の支援を行う。		
27 年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
【1】足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援事業	通年	2 回	区内
【2】歓喜の演（狂言、合唱）	12、1 月	2 回	西新井文化ホール他
【3】足立区音楽祭	9 月	1 回	西新井文化ホール他
【4】ブリランテコンサート	7、12 月	2 回	西新井文化ホール他
【5】足立吹奏楽団定期演奏会	6、2 月	2 回	西新井文化ホール他
【6】イベントコーディネート	通年	随時	区内各所

平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）実績		予算現額		
		324,000 円		
		執行額		
		232,440 円		
実施概要	【1】足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援事業 派遣演奏に伴う楽器運搬支援を行った。			
	【2】歓喜の演(狂言、合唱) 実行委員会、ギャラクシティ指定管理者あだち未来創造ネットワーク、公社の三者共催事業とし、ギャラクシティ施設以外での活動場所の提供、実行委員会への参加等の運営支援を行った。			
	【3】足立区音楽祭 実行委員会、ギャラクシティ指定管理者あだち未来創造ネットワーク、公社の三者共催事業とし、運営についての助言、協力を行った。			
	【4】プリランテコンサート 区民演奏家グループであるプリランテの定期演奏会の事業共催を行い運営についての助言・協力を行った。			
	【5】足立吹奏楽団定期演奏会 定期演奏会を共催し、事業運営の支援を行った。			
	【6】イベントコーディネート 各団体・機関より出演者等について相談を受け、それぞれ助言、コーディネートをを行った。			
実 施 結 果		延参加人数	実施回数	実施場所
【1】 足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援 足立ジュニア吹奏楽団楽器運送支援 10 月 12 日(月) 午前 12 月 12 日(土) 午後 3 月 27 日(日) 午後			3 回	総合スポーツセンター アリオ西新井 庁舎ホール
【2】 歓喜の演 ※狂言と合唱への支援 4 月 28 日(火) 午後 実行委員会 6 月 19 日(金) 午前・午後 狂言錬成会 10 月 9 日(金) 午後 公開稽古、ボックス テージツアー 10 月 15 日(木) 午後 実行委員会		6 人 126 人 50 人 5 人	1 回 2 回 1 回 1 回	ギャラクシティ内ホール 西新井文化ホール 西新井文化ホール ギャラクシティ内ホール

実 施 結 果	延参加人数	実施回数	実施場所
11月 3日(火) 午後 歓喜の演 狂言【本番講演】	402 人	1 回	西新井文化ホール
12月 3日(木) 午後 実行委員会	5 人	1 回	ギャラクシィ内ホール
12月 26日(土) 午後 歓喜の演 合唱【本番講演】	732 人	1 回	西新井文化ホール
2月 2日(火) 午後 実行委員会	5 人	1 回	ギャラクシィ内ホール
小計	1,331 人	9 回	
【3】足立区音楽祭			
第11回足立区音楽祭（共催）			
9月 6日(日) 午後	190 人	1 回	花畑記念庭園・桜花亭
9月 11日(金) 午後	230 人	1 回	足立区役所外リム
9月 13日(日) 午前・午後	340 人	1 回	都市農業公園
9月 26日(土) 午後	160 人	1 回	ギャラクシィ
9月 27日(日) 午後	770 人	1 回	西新井文化ホール
小計	1,690 人	5 回	
【4】プリランテコンサート			
プリランテコンサート(共催)			
7月 5日(日) 午後	406 人	1 回	西新井文化ホール
12月 1日(火) 夜間	680 人	1 回	西新井文化ホール
小計	1,086 人	2 回	
【5】足立吹奏楽団定期演奏会			
足立吹奏楽団スプリングコンサート（共催）			
6月 7日(日) 午後	411 人	1 回	西新井文化ホール
【6】イベントコーディネート			
保育園ミニコンサート、悠々館イベント、 小学校開かれた学校づくり協議会主催イ ベント、敬老のつどいイベント、10周年記 念祝賀会、福祉施設演奏会他		8 回	花畑保育園父母の 会、住区推進課 新田学園、長門住 区センター、佐野地域 婦人・女性団体協 議会、NPO 法人千 住地区、神明福祉園
合計	4,518 人	28 回	

4 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業
(定款第4条第1項第4号事業)【公益目的事業】

(1) 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業			当初予算額	
			9,234 千円	
目的及び概要		図書室・視聴学習室を広く区民に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供する。放送大学学園東京足立学習センターから公社が管理を受託し、区民に開放し、学習機会の拡大を図る。		
27 年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【1】 図書室、視聴学習室の設備の維持管理開放事業		通年	—	東京足立学習センター
平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）実績			予算現額	
			10,852,739 円	
			執行額	
			8,862,837 円	
実施概要	【1】図書室、視聴学習室の設備の維持管理・開放事業 図書室・視聴学習室の管理を行い学生に限らず広く区民に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供し区民の方の利用に供した。			
実 施 内 容		実施期間	実施回数	実施場所
【1】 図書室、視聴学習室の設備の維持管理・開放事業		通年	—	東京足立学習センター

5 足立区から受託する生涯学習に関する事業
(定款第4条第1項第5号事業)【公益目的事業】

(1) あだち放課後子ども教室支援			当初予算額	
			220,688 千円	
目的及び概要	区が推進する放課後の子どもの安全で安心な居場所を提供する「あだち放課後子ども教室事業」を区から受託し、実行委員会による事業運営を支援するとともに、放課後により豊かな時間と空間を提供できるよう実施内容の拡充および環境整備を図る。			
	「安全管理講習会」は、安全管理員が、日々の見守り業務の中で発生する事故や怪我の対応に必要な応急手当や安全対策などの知識および技術の習得を図るために実施する。			
	「運営委員会」は、事業全体の円滑な実施を図るために、事業計画の策定、安全管理や広報活動などの取り組み、活動プログラムの企画および事業実施後の検証・評価等についての検討の場として実施する。			
	「ブロック会議」は、運営委員会を補完するために開催し、実施状況の把握や情報交換、運営上の課題およびその対応策を検討することで、安定運営と対象学年等の拡大を図るとともに、活動内容の充実を目指す。			
27年度の予定				
	内 容	実施時期	実施回数・校	実施場所
	【1】あだち放課後子ども教室の支援	通年	随時	区内各小学校
	【2】安全管理講習会（応急手当実技）	4～7月	69校	区内各小学校
	【3】新任安全管理講習会（応急手当実技）	4～3月	4回	生涯学習センター他
	【4】運営委員会の支援	1月	1回	生涯学習センター
	【5】ブロック会議の支援	11月	13回	区内各小学校他
平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）実績				予算現額
				220,686,602 円
				執行額
				212,271,380 円
実施概要	【1】あだち放課後子ども教室の支援			
	放課後子ども教室を円滑に実施するために各校への巡回を実施、年間約43週に対して1校あたり平均47回(週1回以上)の巡回を行った。事務連絡、事故対応、学校との連絡調整のほか、スタッフ会議や学童保育室との調整など、トータルな運営支援を行った。			
実施概要	【2】安全管理講習会(応急手当・実技)			
	見守りスタッフのフォローアップ研修として、AEDの取扱い方法や熱中症の対応などを重点とした講習会を夏休み前までに全校(69校)で実施した			

実施概要	【3】新任安全管理講習会(応急手当・実技) 新任スタッフ全員を対象として、AEDの基礎知識、止血法、ケガの対応など、応急処置の基本を中心とした講習会を9月以降、4回実施し、56名の参加があった。			
	【4】運営委員会の支援 『放課後子ども教室での子どもたちの豊かな体験活動の推進について』を、共通テーマとして、千葉敬愛短期大学学長明石要一氏、足立区教育長定野司氏による講演会を実施した。体験プログラムの導入について、実行委員会にその意義を認識していただき、今後の実施内容の拡充につなげていく。各放課後子ども教室実行委員長および関連団体代表が出席した。			
	【5】ブロック会議の支援 実行委員長及び小学校長出席のもと、放課後子ども教室を小学校13ブロックに分けて開催した。体験プログラムの導入を踏まえて、先行してプログラムを実施している事例紹介等、ブロック内各校の情報交換を行った。			
実 施 結 果		延参加者数	実施回数	実施場所
【1】 あだち放課後子ども教室の支援 各校への平均巡回回数		1,010 人	47 回/校 (約 43 週)	区内各小学校
【2】 安全管理講習会（応急手当実技） 4月8日(水)～7月22日(水) 各校ごと 午前・午後・夜間			69 回	区内各小学校
【3】 新任安全管理講習会（応急手当） 9月29日(火)午前、12月4日(金)午後 2月 4日(木)午前、 3月9日午前(水)			4 回	生涯学習センター、 こども支援センター
【4】 運営委員会 1月22日(金)		110 人	1 回	生涯学習センター
【5】 ブロック会議 11月4日(水)～30日(月) 各ブロック（13ブロック）、いずれか1日		211 人	13 回	区内各小学校
合計		1,387 人	134 回	

(2) ジュニア吹奏楽団支援		当初予算額		
		4,515 千円		
目的及び概要	区から委託を受け、音楽を愛好する情操豊かな児童を育成する「ジュニア吹奏楽団」の支援事業を実施する。 公社は、所管する区の方針に則り、足立区内4～6年生の希望者を対象に週2回の練習を行い、定期演奏会をはじめ、区内の各イベント等への出演を調整し、演奏活動の支援を行うとともに、友の会の運営支援も行う。			
27年度の予定				
内 容	実施時期	実施回数	実施場所	
【1】楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進 指導者謝礼補助 楽器消耗品購入 通信運搬費補助	通年	—	練習（島根小） 定期演奏会（区内） その他区内外での 派遣演奏会場	
平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）実績			予算現額	
			4,515,000 円	
			執行額	
			4,495,060 円	
実施概要	【1】楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進 楽団および楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進を行った。 平成27年度の団員は34名。派遣演奏やイベント出演回数は増加している。 今年度は例年実施している区内のイベントや幼稚園・保育園での演奏だけではなく、区外からの依頼（全国官公庁野球大会開会式・東京ドームシティハロウィンキッズパレード）も受け派遣演奏を行った。この結果、区内外での認知度・期待度がより高まった。			
実 施 結 果		延参加者数	実施回数	実施場所
【1】楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進 ≪通年≫指導者謝礼、楽譜等消耗品購入、 通年運搬費補助、対外折衝 ●定期練習 ●楽団活動 ①平成27年度入団式 4月11日(土)午後 ②友の会総会 5月 9日(土)午後 ③避難訓練 5月27日(水)夜間 ④夏合宿 8月15日(土)～17日(月) ⑤プラスキッズ 1月30日(土)午前、2月13日(土)午後、 2月27日(土)午前、3月12日(土)午後、 3月26日(土)午後、3月27日(日)午後		3,060 人 469 人 100 人 50 人 60 人 163 人 96 人	90 回 11 回 1 回 1 回 1 回 1 回 7 回	島根小音楽室 島根小 島根小 島根小 日光林間学園 島根小 庁舎ホール

実 施 結 果	延参加者数	実施回数	実施場所
●派遣演奏/イベント出演			
①興本扇学園開かれた学校づくり協議会主催 「花と音楽と茶道の集い」 4月4日(土)午前	300人	1回	興本扇学園
②三星保育園主催「三星劇場」 6月20日(土)午前	100人	1回	三星保育園
③全国官公庁野球大会 開会式 8月23日(日)午後	1,900人	1回	大田スタジアム
④あだちブラスバンドフェスティバル 10月11日(日)午後	1,840人	1回	西新井文化ホール
⑤区民体育大会 総合開会式 10月12日(月)午前	635人	1回	総合スポーツセンター
⑥スポーツカーニバル 10月12日(月)午後	3,260人	1回	総合スポーツセンター
⑦千住旭町商店街振興組合主催 コドモレー 10月25日(日)午後	900人	2回	北千住駅東口
⑧東京ドームシティアトラクションズ ハロウィンキッズパレード 10月31日(土)午前・午後	2,000人	2回	東京ドームシティアトラクションズ
⑨クリスマスコンサート in アリオ西新井 12月12日(土)午後	700人	2回	アリオ西新井
⑩楽団主催 アンサンブル大会 12月19日(土)午後	70人	1回	島根小音楽室
⑪亀田小放課後子ども教室主催 指導者によるミニコンサート 1月20日(水)午後	30人	1回	亀田小体育館
⑫江北白百合幼稚園 派遣演奏 1月23日(土)午前	175人	1回	江北白百合幼稚園
⑬島根小放課後子ども教室主催 指導者によるミニコンサート 2月24日(水)午後	30人	1回	島根小音楽室
⑭島根小開かれた学校づくり協議会主催 島根小餅つき大会 2月27日(土)午前	300人	1回	島根小
⑮足立区少年軟式野球大会 総合開会式 3月20日(日)午前	2,000人	1回	総合スポーツセンター
⑯第26回定期演奏会 3月27日(日)午後	480人	1回	庁舎ホール
合計	14,720人		

(3) 体力向上支援人材育成			当初予算額	
			334 千円	
目的及び概要	区から委託を受け、区民の体力向上を図るため、からだの動きを良くする運動法である「コーディネーショントレーニング」の指導者を育成する。 地域スポーツ指導者や保育・学校体育に携わる区民を対象に、コーディネーショントレーニングの基礎理論を学ぶ講習会を実施する。更に、指導力向上を目指し、実践指導に即したプログラムを学ぶスキルアップ講習会を実施していく。			
27 年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【1】 コーディネーショントレーニング 指導者初級者講習会(基礎理論)		5、11 月	2 回	総合スポーツセンター他
【2】 コーディネーショントレーニング 指導者スキルアップ講習会(実践指導法)		6～2 月	3 回	生涯学習センター
平成 27 年度（平成 27 年4月1 日～平成 28 年3月 31 日）実績				予算現額
				334,000 円
				執行額
				299,520 円
実施概要	【1】コーディネーショントレーニング指導者初級者講習会(基礎理論) 地域スポーツ指導者や保育施設・学校の体育に携わる方、指導者を目指す方などを対象に運動指導の現場にコーディネーショントレーニングの理論を取入れ、楽しみながら運動能力や体力向上につながる指導法を学ぶための基礎講習会を実施した。 【2】コーディネーショントレーニング指導者スキルアップ講習会(実践指導法) コーディネーショントレーニングの要素を実際の指導に取入れるため、ワークショップ形式でプログラム作成の実践を学ぶ講習会を開催し、楽しく効果的に運動能力を向上させる「運動あそび」の視点で運動プログラムの作成方法を学習した。 運動プログラムには指導対象者の年齢や目的に応じた留意点があるため、こども・おとな・高齢者それぞれに対応するコースや、運動能力別のコースを設定した。			
実 施 結 果		延参加者数	実施回数	実施場所
【1】 コーディネーショントレーニング指導者 初級講習会				
① コーディネーショントレーニング(基礎) 6 月 7 日(日)午前		41 人	1 回	生涯学習センター
② 運動あそびと体力向上トレーニング(基礎) 9 月 20 日(日)午前		38 人	1 回	生涯学習センター
小計		79 人	2 回	

実 施 結 果	延参加者数	実施回数	実施場所
【2】コーディネーショントレーニング指導者 スキルアップ講習会			
①高齢者向けプログラム編			
4月29日(祝)午前・午後	88人	2回	生涯学習センター
11月3日(祝)午前・午後	72人	2回	生涯学習センター
②こども対象実践プログラム編			
6月7日(日)午後	30人	1回	生涯学習センター
③おとな対象実践プログラム編			
9月20日(日)午後	38人	1回	生涯学習センター
④能力別Ⅰ(リズム、バランス、反応)			
6月21日(日)午前	28人	1回	生涯学習センター
⑤能力別Ⅱ(認知・操作)			
6月21日(日)午後	28人	1回	生涯学習センター
⑥運動能力を伸ばす運動あそびプログラム			
Aコース 認知機能向上 11月22日(日)午前	9人	1回	生涯学習センター
Bコース 調整力向上 11月22日(日)午後	9人	1回	生涯学習センター
Cコース 加速度向上 11月30日(月)夜間	15人	1回	生涯学習センター
Dコース 指導力向上 12月 6日(日)午後	12人	1回	生涯学習センター
小計	329人	12回	
合計	408人	14回	

【1～5 公益目的事業に対する人件費】

公益目的事業に対する人件費			当初予算額	
			251,256 千円	
目的及び概要		定款第4条第1項事業である「公益目的事業(放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業を除く)」を実施する職員の人件費。		
27年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【1】公益目的事業に従事する職員人件費		通年	—	—
平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)実績			予算現額	
			251,256,000 円	
			執行額	
			248,237,435 円	
実施概要	【1】公益目的事業に従事する職員人件費。			
実 施 結 果		延参加者数	実施回数	実施場所
【1】公益目的事業に従事する職員人件費		通年	—	—

6 放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する事業
(定款第4条第2項第1号事業)【その他の事業1】

(1) 放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する事業			当初予算額	
			5,125 千円	
目的及び概要	放送大学東京足立学習センターは、区民が身近で、高等教育を受ける機会を提供するために誘致した施設である。公社は、同センターの総務的業務の一部を担っている。			
27年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【1】東京足立学習センターの事務局事務運営補助事業		通年	－	東京足立学習センター
平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）実績			予算現額	
			0 円	
			執行額	
			0 円	
実施概要	【1】東京足立学習センターの事務局事務運営補助事業 放送大学事務室運営に関しては、予算決定後公社と放送大学との協議により、放送大学から公社への委託はせず、放送大学が直接運営することとなった。よって、27年度は公社事業としての実施はない。			
実 施 結 果		延参加者数	実施回数	実施場所
－		－	－	－

7 その他前号に定める事業に関連する事業
 (定款第4条第2項第4号事業)【法人会計】

(1) 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営			当初予算額	
			53,124 千円	
目的及び概要	公益財団法人足立区生涯学習振興公社を運営するために、公益法人として不可欠な理事会や評議員会の開催及び庶務事務を行う。また、自主事業を安定して継続するために、基本財産等の安全確実な資産運用を行う。			
27年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【1】公益財団法人の管理・運営補助事業 経理・契約・給与事務の執行 基本財産等の管理及び運用 理事会及び評議員会の開催		通年 通年 5、11、2月	—	公社事務局
平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）実績			予算現額	
			53,124,000 円	
			執行額	
			49,595,603 円	
実施概要	【1】公益財団法人の管理・運営補助事業 職員等の給与システムの運営、経理・契約システムの運営、基本財産の管理・運用、理事会及び評議員会の開催について、公益法人として適切な執行及び運営管理行った。			
実施結果		実施時期	実施回数	実施場所
【1】 公益財団法人の管理・運営補助事業 《通年》職員等の給与システムの運営、経理・契約システムの運営、基本財産等の管理及び運用、理事会及び評議員会の開催		通年	—	公社事務局

公 社 概 要

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

設 立	平成5年2月1日（平成12年4月1日名称変更）
公 益 認 定	平成21年10月1日公益財団法人
基 本 財 産	15億円
代 表 者	理事長 亀村 精一
職 員 数	49名（定数） 常勤30名（派遣7名、固有23名） 再任用1名 非常勤18名
住 所	〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21

ホームページ
アドレス <http://www.kousya.jp/tokimeki/>

組 織 図

（決 議 機 関）

評 議 員

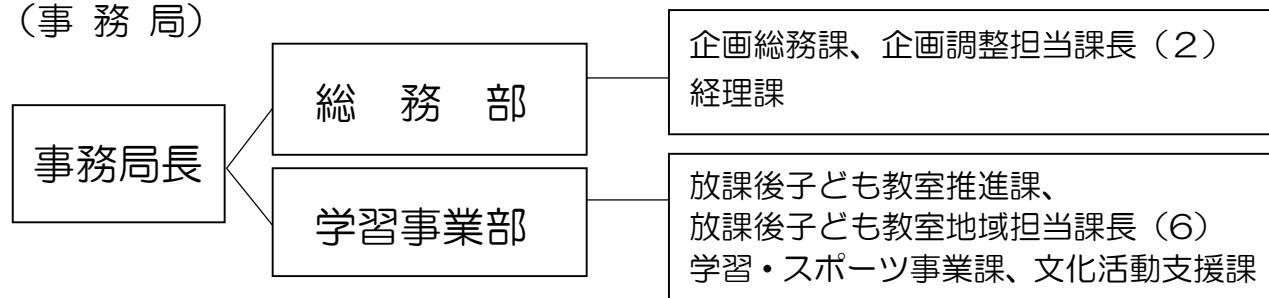
（監 査 機 関）

監 事

（執 行 機 関）

理 事 会 — 理 事 長 — 副 理 事 長
（代表理事） （業務執行理事）

（事 務 局）



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

平成27年度 事業報告書

作成 公益財団法人足立区生涯学習振興公社

総務部企画総務課 03-5813-3724